



6月の稲の状態と作業内容

バードライフファーム

オーナー	バードライフ・インターナショナル東京
水田面積	25.0アール
保証量	玄米1125kg
形態・品種	特別栽培コシヒカリ
ブランド	「海」
Co2回収	約2500kg



米風土鳥取

5月の夜は気温の低下で伸び悩んだ稲も、山陰には珍しい空梅雨のおかげで、この6月は順調に大きくなりました。気温が夏のように暑いので、稲にも良いのですが田んぼの草にも好条件となり両方、元気になっています。困ったもので自然には逆らえないので悪戦苦闘している毎日です。こんな年は台風や大雨が後半よくきますので大きな被害がでないことを願うばかりです。

稲の生長は速く、この時期は根元からどんどん分かれて増えていく「分（ぶん）けつ」が始まります。稲には元々節があり、この節から分枝がでてくることをこのように呼び、また穂になるものとそうでないものを早めに分け、過剰にならないように分けつが適正数になったら止めます。

作業としては日々草刈りの毎日ですが奥が深く、草刈りの頻度次第で植生が変わります。草刈りをしないと背丈の高い草がどんどん生えてきて、最終的にススキや雑木が生えてきて山に戻ろうとします。

また刈った草を放置すると自然分解が始まり、その草を目当てにミミズが寄ってきて、ミミズを餌にするモグラが畦に穴を掘って、畦が壊れやすくなってしまいます。その為、刈った草は野焼きしたり、来年の緑肥にしたり様々です。



草刈り①



草刈り②



分けつ



6月末の稲の状況